

令和5年度 第1回大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 議事録

○ 日時：令和5年7月25日（火） 午前10時から11時30分

○ 運営協議会委員（敬称略）

菊田 久雄（大阪公立大学 副工学部長）、古橋 章秀（堺市立若松台中学校校長）

中村 俊一（立志館ゼミナール館長）、池内 博一（追手門学院大学 准教授）

仲里 セイ子（泉北高校 PTA 会長）、吉原 朋子（泉北高校後援会 会長）

校長、教頭（司会）、小田（事務長）、池ノ上（首席、書記）、大内（首席）、篠原（進路指導主事）、榎阪（総合科学科長）、富田啓（国際文化科長）、角田（総合科学科課題研究主担）

1. 校長あいさつ

（校長ブログから抜粋した写真を用いて説明）

学校のイベントや海外からの訪問、警察官による交通安全教室、体育祭、探究活動での商品開発、総合科学科成果発表会@大阪公立大学、英語でのプレゼン、部活動合宿実施や全国大会進出、サイエンスツアー（東京）、インテックス大阪での進学フェア（学校説明会）、入試倍率について説明した

2. 協議事項

①令和4年度学校評価及び令和5年度学校経営計画（校長より）

令和5年度学校経営計画における目標設定については、学習時間の減少に対応するために、学習支援アプリを導入した。評価指標には偏差値を用いる。

（委員）偏差値を指標に用いると、全体のレベルが上がると、全体の値も変わってくるので、どうなのか。

（事務局）他校や全国との比較には（ある予備校）の模試を受験し、状況を把握する予定。

②今年度の主な取組みについて

（事務局）月一回理数科会議を行っており、地域との連携や課題研究を大切にしていくための議論を進めている。予算がない中で、できる限り企業や行政との連携を模索している。泉南乳業の廃棄牛乳を使うなど、企業のCSR活動と学校の研究をWin-Winな関係となるよう進める。

（委員）SSHの予算はどれほどあったのか？

（事務局）例年700万円、経過措置は200万円、現在はゼロなので、学校の諸経費から捻出する。

（事務局）今まで通りにはいかない、だから何ができるか、を考えていく中の選択肢に企業や大学、行政との連携を自力で進めていく。

（委員）同窓会から寄付を募るのは難しいか？

（事務局）同窓会に窮状を伝えているが、支援をいただくのは難しい。

（委員）なんのために課題研究をするのか？それは自分自身で学ぶ姿勢を作るためのきっかけになるので、そのつなぎをどうするのか。

（事務局）論理的思考、課題発見能力、課題解決能力の育成。情報収集能力などを育成する。そのために粘り強くやっていく。社会で本気を出している大人と関わらせたい。そうすることで課題解決能力の育

成につながるのではないか。

(委員) 公立大で発表している生徒の発表内で、知識がある状態で、考えることと、知識をベースとして考えること。知識と実践が繋がっていないのが現状。学校で習っていることと探究でやっていることを繋げることが必要。教科書はシンプルな書き方をしているので、その記載内容にどれほど深く読み込めるか、ということが重要。

(委員) シルバー人材を活用する地域連携。若手人材を育成するためにシルバー人材を雇って、人材を育成する取組みが広がっている。科学探究の際には、先生が忙しすぎて、自分たちの満足できる研究ができない。地域連携を進めるのであれば、そういった人材を活用してみればよいのではないか。

(事務局) 令和5年度教科書採択については教科会議、職員会議を経て適切に選定した

(事務局) スクールポリシーについて作成が必要となったため、ご意見やご感想をいただきたい。

(委員) 大学の場合は、アドミッションポリシーに合わせた入試をする。カリキュラムポリシーはそれに合わせた、カリキュラムを作成している。泉北高校の特色は？大切にしていることは？

(事務局) 本校としては、探究活動や、地域連携を大切にしていきたい。

(事務局) 進路状況 資料3点についての説明

(委員) 一般入試で大学に進学する生徒は少ないのか？

(事務局) 若干減少しているが、選抜方式の多様化により一般入試以外での合格者も一定数いる。

(事務局) 模試の成績が昨年度と比較して向上している。

(委員) 自分の立ち位置が分かればモチベーションが上がる。

(事務局) オープンキャンパスの前に自己分析シートを作成させてリクルートと協働で進めている。

(委員) 教員がアクティブラーニングを行うことで、学校は変わってくる。

4. その他

特になし

5. 事務連絡

第2回および第3回学校運営協議会の日程について

第2回 令和5年11月22日(火) 14:30~16:00 (予定)

第3回 令和6年1月31日(水) 15:45~17:00 (予定)